



第2回中・高校生ワークショップ実施報告



令和7年8月24日（日）に実施した、第2回中・高校生ワークショップの内容について報告します。

中・高校生ワークショップは「中・高校生にとって使いやすい児童館について考えてみよう！」をテーマに、中・高校生の皆さんの意見から意見をいただくために実施しています。

■第2回 中・高校生ワークショップ開催概要

実施日時：令和7年8月24日（日）9時30分～12時30分

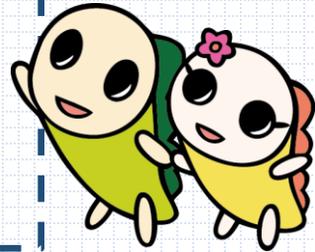
実施場所：高井戸児童館 2Fプレイルーム

出席者：8名

内 容：

- ・アイスブレイク
- ・高井戸児童館を知ろう！
- ・中・高校生にとって使いやすい児童館を
考えてみよう！

など



★ アイスブレイク

ワークショップは、中学生・高校生が混在する班を2つ作り、グループワーク形式で行いました。



- ・アイスブレイクは「三行自己紹介」をしました。
- ・ファシリテーターも含む班のみんなが「わたしは○○○○○○です。」を3行書いたものを回収、ファシリテーターが読み上げ、誰のことかを班で当てるゲームでした。
- ・みんなの好きなことなどを知り、和気あいあいとした雰囲気、緊張もほぐれました！

★ 高井戸児童館を知ろう！

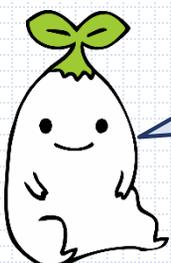
初めに、高井戸児童館がどんなところで、何ができる場所なのかの説明を聞きました。

高井戸児童館の説明は児童館長が行いました。



【高井戸児童館の説明内容の概要】

- ・高井戸児童館の施設は、他の児童館に比べると2倍程度広い。
- ・乳幼児室は2部屋あり、乳幼児親子の利用も多い。
- ・乳幼児親子、小学生、中・高校生は、タイムシェアで遊戯室（体育室）を使用している。
- ・禁止事項はできるだけ作らず、ゲーム機の持ち込みなどどうすればルールを守って使えるかを話し合っ決めてることを大切にしている。



高井戸児童館の説明を聞いたあと、みんなで高井戸児童館を見学したよ。中・高校生スペース、遊戯室（体育室）、乳幼児室、学童クラブの育成室など、それぞれのスペースで中・高校生がどんな風に過ごしているのかも話してもらったよ。

高井戸児童館見学の様子



◀ 使い方の説明を聞きながら、遊戯室（体育室）を見学



◀ 学童クラブの子が、帰りの会をしたり、少し身体を動かすあそびをする部屋を見学



◀ 多目的室の一角にある中・高校生優先スペースを見学



◀ 多くの子が遊びにくるため、廊下のスペースもあそびに使えるように工夫している

■ 高井戸児童館を見学した感想（抜粋）

- ・ 四宮森児童館の中・高校生ルームと比べると広くて居心地がよさそう。
- ・ 部屋の数が多いと感じた。
- ・ 日常から小学生とのふれあいがあるのは楽しそう。
- ・ 自由な感じがある。

★ 中・高校生にとって使いやすい児童館を考えてみよう！

「中・高校生にとって使いやすい児童館」を考えるため、はじめに、宿題でみんなに書いてきてもらったワークシートの内容を発表してもらいました。



ワークシート 『普段から児童館を利用していますか？』

- ① 利用している
- ② 前は利用していたが、今は利用していない
- ③ 利用したことがない



① 利用している

「児童館がこうなるともっといい！」「児童館のこんなところがいい！」を教えて！

- ・ 児童館に勉強スペースがあったり、友達と勉強会ができるところ
- ・ 大人が親身に話を聞いてくれるところ
- ・ 相談にのってくれる大人がいるところ
- ・ 自主企画のイベントなど、主体的に活動ができるところ
- ・ 学校でもなく、家でもなく、過ごせる場所であるところ



「児童館のこんなところがいい」をたくさん挙げてくれてありがとう～♡



②前は利用していたが、今は利用していない

「どうして利用しなくなったのか」「児童館がこうなるとまた利用したい」を教えて！

- ・ 地元の児童館は施設も小さくなく、小学生向けの施設、というイメージ
- ・ 高校生になると居づらくなった
- ・ 中・高校生が使える設備が少ない
- ・ 友達がいないので、行こうとならなかった
- ・ 中学生になると学校が忙しくなり、行けなくなった
- ・ 小学生の時は行動範囲が狭かったが、中学生になると行動範囲が広がったから
- ・ 学童に入っておらず、たまに行くと「疎外感」があり、学童クラブのための場所と感じた
- ・ 高学年になると、小さい子が行く場所と思い、行かなくなった
- ・ ルールが多すぎて面倒な気持ち
- ・ 季節の行事、流行によせたイベントなどをやってくれると行きたい
- ・ 自習室があるといい
- ・ イベント、設備を中・高校生にも知ってもらうことが必要
- ・ フリーwifiがあるといい
- ・ 静かに1人で勉強できるスペースがあるといい
- ・ 安心して過ごせる
- ・ 具体的にできるのか分かりやすくしてほしい
- ・ 中・高校生のニーズや気持ちをきちんと反映した居場所づくりが大切

③利用したことがない

「どうして児童館を利用しないか」「児童館がこんなところだったら利用したい」を教えてください！

- ・ 「児童館」というネーミングは小学生のイメージ



「中・高校生にとって使いやすい児童館」を具体的に考える手法として、今回は「マインドマップ」をみんなで作成することにしました。

マインドマップは、みんなの頭の中のアイデアや考えを視覚的に表現する方法で、キーワードから連想されるアイデアや考えを整理することができるよ。



- ・ 「好きなもの」をお題にマインドマップを作成する練習をしたあと、「児童館を中・高校生にとってもっと使いやすくするためには？」をお題にマインドマップ作りをしました。
- ・ 今回は、「児童館」という施設を考えることがお題なので、施設整備を考える時によく使われる『ハード』『ソフト』という分類を紹介したよ。

『ハード』：建物・部屋、設備、備品、立地や施設へのアクセスなど

『ソフト』：ひと、サービス・イベント、ルール、施設の運営の考え方など

🍎 マインドマップづくりの様子



◀最初は何を書こうか
考えながらだったけど

みんなで話しながら▶
書き始めるとどんどん
アイデアがでてきたよ

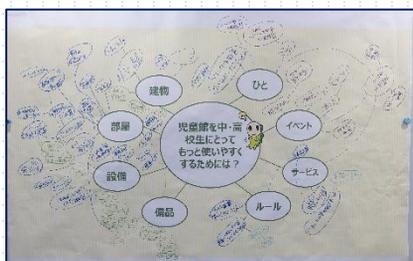


◀途中、他の班の描い
ていることも偵察したり
して

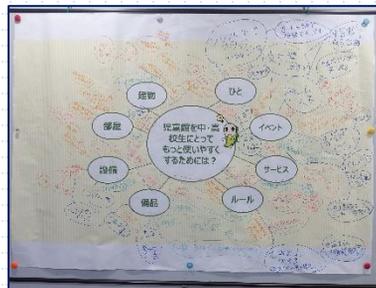
自分たちの班の▶
マインドマップを更に
ブラッシュアップしたよ



◀最後に、作成した▶
マインドマップを発表し
ました



◀完成したマインドマップ▶

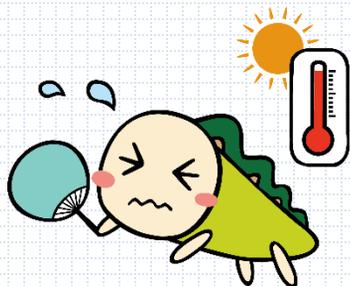


★ 次回のご案内

第3回中・高校生ワークショップ：11月2日（日）9時30分～ @ゆう杉並

【実施内容（予定）】

- ・小学生が出した意見を見てみよう！
- ・大人が考えていること、聴いてみよう！
- ・自分たちが考えた「中・高校生も利用しやすい児童館」の内容をブラッシュアップしよう！



9月になっても暑い日が続いています。

熱中症には引き続き気をつけてすごしてね！

次回は11月2日（日）です。ゆう杉並で開催なので、間違わないで
きてください！皆さんにお会いできるのを楽しみにしています 😊